

株式会社ウェッジホールディングス  
2009年9月期(第8期)  
決算説明会

2009年11月16日

株式会社ウェッジホールディングス  
代表取締役社長 田代 宗雄

# Contents

## ■ 当社の概要

企業概要

グループ沿革

2008年9月期、新経営体制での  
改革により黒字転換

事業セグメント

コンテンツセグメント主要事業

物販セグメント主要事業

投資育成・ファイナンスセグメント  
主要事業

## ■ 2009年9月期経営成績について

連結・単体経営成績

業績推移 売上高・営業利益

業績推移 経常利益・純利益

## ■ 2009年9月期経営・財務の 主要トピックス

不採算事業圧縮と固定費削減

財務基盤の強化と資本規模拡大

M & Aによるポートフォリオ拡大

その他主要指標について

## ■ 2009年9月期セグメント別のトピックス 各事業セグメントの概況 ~

## ■ 2010年9月期業績予想と事業展開・ 株主還元などの方針について

2010年9月期 連結業績予想

2010年9月期 単体業績予想

投資育成から新たな企業グループ創造へ  
当社グループの課題

株主還元についての方針

# 当社の概要

# 企業概要

- 会社名: 株式会社ウェッジホールディングス  
(英語表記: Wedge Holdings CO., LTD.)

設立: 2001年10月

資本金: 1,289,140,900円

上場市場: 大阪証券取引所 ニッポン・ニュー・マーケット「ヘラクレス」市場

代表者: 代表取締役社長 田代 宗雄

本社所在地: 東京都千代田区神田錦町一丁目1番地 神田橋安田ビル4階

主要事業: コンテンツ事業・物販事業・ファイナンス事業・投資育成事業

グループ会社

◆ 国内

- 株式会社エンジン
- 株式会社エースデュース
- 株式会社ラディクスモバニメーション
- 株式会社スピニング

◆ 海外

- Group Lease PCL(タイ証券取引所一部上場)
- Engine Holdings Asia PTE(シンガポール)

グループ従業員数 306名 (2009年9月末現在)

# グループ沿革

## 2001年10月 株式会社ブレインナビ設立

- 編集プロダクション事業を中心に展開

## 2004年1月 大阪証券取引所ヘラクレス市場に株式上場

- 翌年に向け、投資組合組成、投資会社設立と、数社の買収でグループを形成、3事業体制に

## 2005年7月 会社分割により株式会社ウェッジホールディングスとして持ち株会社に移行

- その後一部の子会社の吸収により事業持ち株会社化
- 業績不振で3年連続の赤字が続く

## 2007年9月 第三者割当増資によりAPFグループが筆頭株主に

- 2007年9月 APFグループの明日香野ホールディングスが40%取得、筆頭株主に
- 2007年12月 経営体制刷新、2008年9月期を通じて経営改革に取り組む

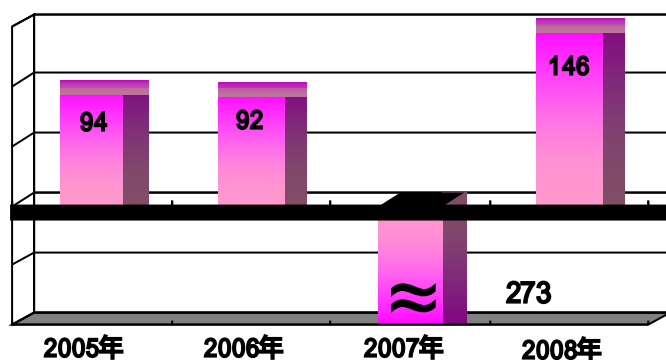
# 2008年9月期、新経営体制での改革により黒字転換

- 2007年12月 経営体制変更の後、投資採算管理・在庫管理などで改革に注力、収益事業の強化も推進
- 約1年の改革を経て、4期ぶりに黒字転換

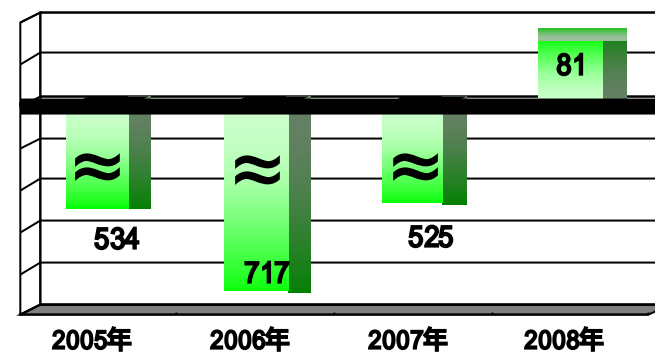
	2005年9月期	2006年9月期	2007年9月期	2008年9月期
売上高	1,337	3,277	2,593	2,139
営業利益	94	96	265	62
経常利益	94	92	273	146
当期純利益	534	717	525	81

(単位:百万円)

【経常利益】



【当期純利益】



# 事業セグメント



## ■ コンテンツ事業

カードゲーム事業  
編集・出版事業  
映画・音楽関連事業

## ■ 物販事業

キャラクター関連商品事業  
商品企画開発

## ■ 投資育成事業

国内外への投資事業  
投資組合等の運営

## ■ ファイナンス事業

タイ国内 オートバイリース事業

新たにファイナンス事業が加わり4セグメント体制に

# コンテンツセグメント 主要事業

## カードゲーム事業



カードゲーム  
『Chaos - character operating system-』



カードゲーム  
『アリス×クロス』

トレーディングカードゲームの  
企画・制作コンサルティング

## 編集・出版事業

ブレインナビ  
コミックス  
『トランスフォーマー  
スターゲート戦役』



ブレインナビ  
コミックス  
『ロックマン・  
ギガミックス』

エンターテインメント領域の  
編集プロダクション・出版事業

## 映画・映像・音楽 関連事業

小規模作品  
を中心に映画  
・映像作品を  
製作、DVD  
パッケージなど  
の流通

DVDシリーズ  
『日本一怖い話』



コリー・ヤーキン  
デビューアルバム  
『コリー・ヤーキン』

欧米音楽アーティストの国内プロ  
デュース、CDパッケージなどの流通

# 物販セグメント 主要事業

## 小売事業

「ブリストー」ブランドでのフィギュア・トイなどのキャラクター商品販売



<http://www.blister.jp/>

「ブリストー」店舗およびECサイトでの販売を展開

## 卸売事業



「ブリストーダイレクト」ブランドでのキャラクター商品の正規輸入代理店事業

## 「たのみこむ」事業

商品リクエストサイト「たのみこむ」の運営、企画商品通販

<http://www.tanomi.com/>

OEM商品企画・販売事業

U.S. AIR FORCE  
SETAGAYA BASE  
TOKORO.G.



「たのみこむ」開発商品  
「所さんのDAITA!時計 Ver.2」

# 投資育成・ファイナンスセグメント 主要事業

## ファイナンス事業

タイ王国 一部上場企業  
Group Lease PCLによるオートバイリース事業



## 投資育成事業

国内外の優良投資  
案件への投資活動

その他の短期投資・  
融資事業

2009年9月期  
経営成績について

# 連結・単体経営成績

連結純利益2億円超、前期比約2.5倍となり、上場来最高益を計上

## ■ 連結経営成績

(単位:百万円)

	2009年9月期累計	(参考) 2008年9月期	増減	対前年比
売上高	2,417	2,139	278	113.0%
営業利益	137	62	75	221.0%
経常利益	322	146	176	220.5%
当期純利益	204	81	123	251.9%

## ■ 個別経営成績

	2009年9月期累計	(参考) 2008年9月期	増減	対前年比
売上高	722	898	-176	80.4%
営業利益	97	90	7	107.8%
経常利益	114	104	10	109.6%
当期純利益	79	97	-18	81.4%

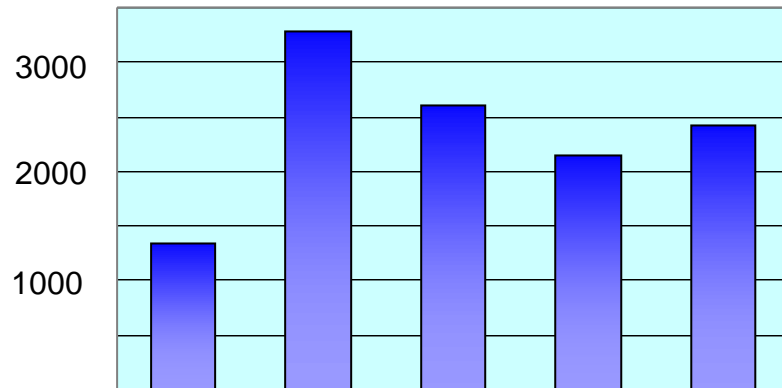
# 業績推移

# 売上高・営業利益

子会社増加で売上・営業利益は増加、新たな成長期へ

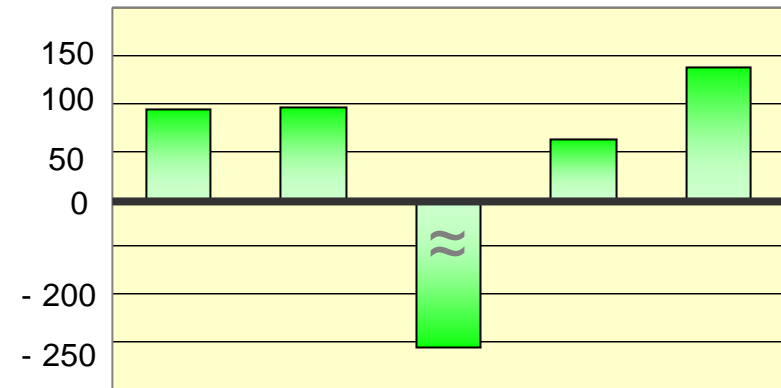
(単位:百万円)

【売上高】



	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
売上高	1,337	3,277	2,593	2,139	2,417

【営業利益】



	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
営業利益	94	96	-265	62	137

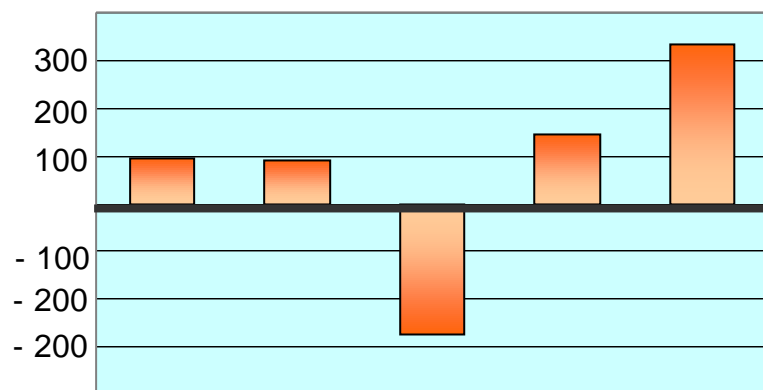
- 新たに子会社に加わったグループリースの収益が大幅に貢献  
売上高は増加に転じ、営業利益でも過去最高益に

# 業績推移

# 経常利益・純利益

経常利益・純利益共に前期比200%超の大幅伸長で最高益

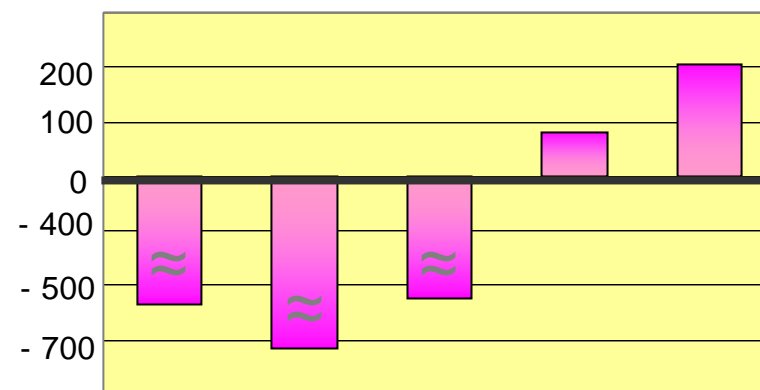
【経常利益】



	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
経常利益	94	92	-273	146	322

【税引後当期純利益】

(単位: 百万円)



	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
当期純利益	-534	-717	-525	81	204

- 投資育成事業の投資有価証券評価益も増益を加速、過去最高益を大幅に更新

2009年9月期  
経営・財務の主要トピックス

# 不採算事業圧縮と固定費削減

経済環境悪化と共に、コンテンツ事業・物販事業でコストコントロールを強化  
守りを固めると共に業務品質向上を図る

- 不採算事業の大幅縮小  
不採算が続き改善の見込めないタレント事業、  
係争中のアニメーション事業については事業を大幅縮小
- 事業所統合による固定費圧縮  
子会社事業所の統合
  - ◆ グループで2008年当時最大時7箇所あった事業拠点は  
2009年11月で2箇所まで統合を行う
- グループ内機能の統合による固定費削減・品質向上  
経理業務の統合化推進
  - ◆ 子会社経理業務を原則として本部に集約、業務改善を推進人事業務の統合化推進
  - ◆ 採用・給与など本部でシェアードサービス化を推進

# 財務基盤の強化と資本規模拡大

## ■ 2009年3月24日、第三者割当増資により総額8.4億円の資金調達を発表

- ◆APFグループを中心に4社に対する割当で資本規模を拡大  
財務基盤の安定性が大幅に向上

## ■ 2009年8月24日、CB発行により、総額約8億円の資金調達を発表

- ◆筆頭株主であるAPFホールディングス株式会社への第三者割当により  
資金を調達

旧社債(MSCB)償還により財務リスクが減少

- ◆調達資金により2006年に発行したMSCB 4.6億の償還が完了
- ◆前期中に2億円の株式転換が完了、今後も順次転換が進むことにより  
財務体質はさらに改善される見込み

オートバイリース事業の成長に向けた投資資金を確保

- ◆調達資金のうち約3.4億はオートバイリース事業の拡大のため確保、  
投資育成事業にて短期運用を行いながら今後も投資機会にあわせ  
積極的に活用予定

# M & Aによるポートフォリオ拡大

- 7月1日、タイ一部上場企業のグループリース社を連結子会社化  
海外売上比率の大幅向上  
総資産規模の大幅拡大

## グループリース社の概要

- ◆ 名称 Group Lease Public Company Limited
- ◆ 設立 1986年5月
- ◆ 資本金 280,839,450 バーツ
- ◆ 代表者 Smart Chiradamrong
- ◆ 所在地 タイ王国 バンコク
- ◆ 事業内容 オートバイリース事業(タイ国内シェア4位)



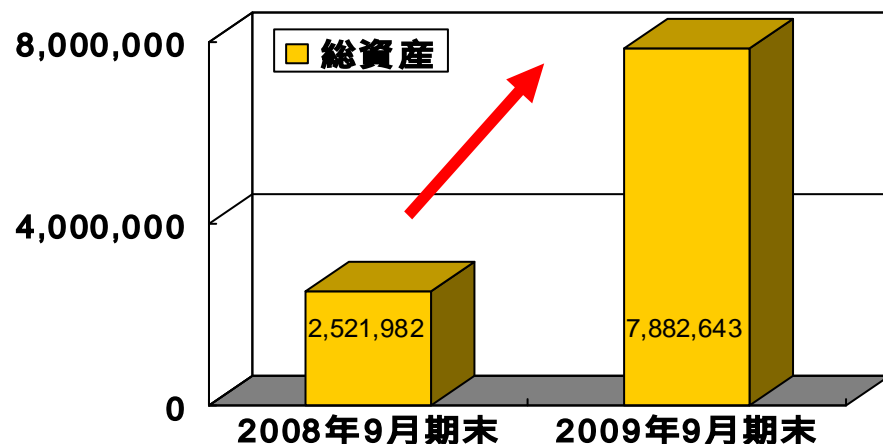
<グループリース社>  
タイ一部証券市場上場 コード GL  
ホームページ(英語) <http://www.grouplease.co.th/en/index.html>



# その他主要指標について

【総資産の増加】

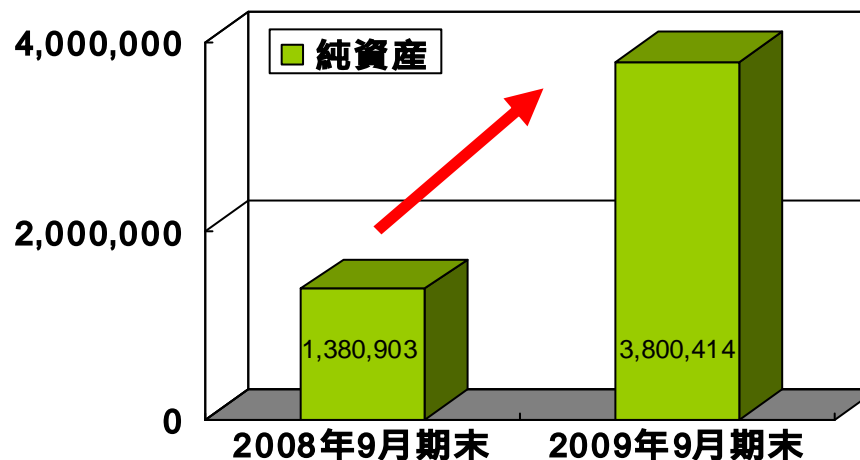
(単位:千円)



グループリースの連結子会社により  
対前期末比312.6%と大幅な拡大

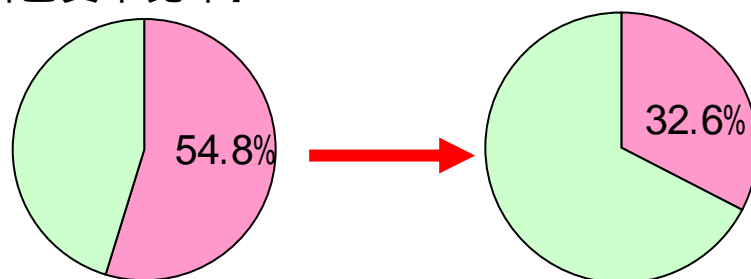
【純資産の増加】

(単位:千円)



3月の増資および社債からの転換が進み  
対前期末比275.2%と大幅な拡大

【自己資本比率】



グループリース社のリース事業の連結により  
前期比末54.8%に対し今期末32.6%になるが、  
リース業の特性からは手厚い自己資本を維持

ファイナンス事業の取り込みと  
資本増強により  
企業規模は大幅に拡張

2009年9月期  
セグメント別のトピックス

# 各事業セグメントの概況

## コンテンツ事業

売上高 1,170百万円(前年比 16.2%減)

営業利益 44百万円(前年比 71.8%減)

### ■ アニメーション・映画等、映像系事業の業績が不振

映画作品を中心にした2008年製作の作品の制作費回収が不調  
子会社エースデュースには、2009年10月、ウェッジHDからの貸付  
金1億円を現物出資し増資を実行。務基盤強化と共に2010年9月  
期での営業力強化による制作費回収を推進

### ■ 高収益のカードゲーム事業は引き続き堅調

主要作品は堅調に推移、収益に大きく貢献を果たす  
第2四半期からは、新たに2シリーズの制作を開始  
今後も継続すると共に、2010年9月期での収益拡大を期待

# 各事業セグメントの概況

## 物販事業

売上高 652百万円(前年比 8.0%減)

営業利益 15百万円(前年 115百万円から大幅損失縮小)

- 米国の不況の影響で商品入荷大幅減が響き未達成となるも、営業赤字幅は大幅に縮小

米国キャラクター商品の取り扱い高が多い業態のため、不況により米国メーカー発の多くの商品が発売延期・停止になり、販売機会の大幅減少に

OEM事業での売上確保等で盛り返すも黒字化ならず

- 固定費削減、体制再構築で今期は営業黒字に転換へ  
2009年9月期の営業力強化と固定費削減効果で2010年の黒字転換に再挑戦へ

# 各事業セグメントの概況

## ファイナンス事業

売上高 514百万円(前年比 -)

営業利益 192百万円(前年比 -)

- 第4四半期から連結子会社に加わり、売上・利益を強力に主導するグループの中核事業に  
2009年は経済危機の影響を考慮し与信管理を徹底、売上拡大を抑制しながらも不良債権率を抑える方針をとる  
営業利益率37%と高収益体質の維持に成功
- タイ首都バンコク中心の営業地域を中堅都市へ拡大中  
2009年11月現在5つの地方中堅都市にも営業拠点を拡大済み、今後地方での優良顧客開拓を図る

# 各事業セグメントの概況

## 投資育成事業

売上高 80百万円(前年比 144.9%増)

営業利益 3百万円(前年比 84.3%減)

- 持分法適用利益 145百万円
- 有価証券評価益 35百万円

### ■ シンガポールに投資法人を設立

2月、シンガポールにてエンジン・ホールディングス・アジアを設立、海外投資のインフラとして新たな投資拠点に

### ■ 複数の短期投資が堅調に収益貢献

APFグループと協力して展開する投資案件は堅調に推移  
2009年9月末には有価証券評価益でも利益貢献

### ■ 新たな事業領域を開拓する推進エンジンとして活躍

投資先企業グループリースは連結子会社として新たなセグメントに  
今後も投資育成事業がグループの事業領域拡大を牽引

2010年9月期業績予想と  
事業展開・株主還元などの  
方針について

# 2010年9月期 連結業績予想

(単位:百万円)

	2009年9月期実績	2010年9月期予想	増減	対前年比
売上高	2,417	4,200	1,783	173.8%
営業利益	137	720	583	525.5%
経常利益	322	700	378	217.4%
当期純利益	204	250	46	122.5%

- ファイナンス事業での連結効果が通年寄与し、業績は急拡大を見込む  
グループリースの収益取り込みにより、特に営業利益・経常利益は前期比で大幅増益へ
- コンテンツ事業・物販事業は緩やかな回復を見込む  
2009年期の固定費削減の寄与と減価償却費用の減少が増益要因に
- 投資育成事業は堅調な推移を見込む  
事業の性質上、大型案件の成約時には業績の修正要因に

**子会社の連結効果で売上・利益とも急成長  
過去最高益を更新**

# 2010年9月期 単体業績予想

(単位:百万円)

	2009年9月期実績	2010年9月期予想	増減	対前年比
売上高	722	700	-22	97.0%
営業利益	97	70	-27	72.2%
経常利益	114	110	-4	96.5%
当期純利益	79	100	21	79.0%

## ■ 売上高は前期並みを予想

出版事業など新規事業では利益体質の確立を優先。前期比売上減に  
カードゲーム事業では堅調な伸びを予想

## ■ 営業利益・経常利益はやや減少予測

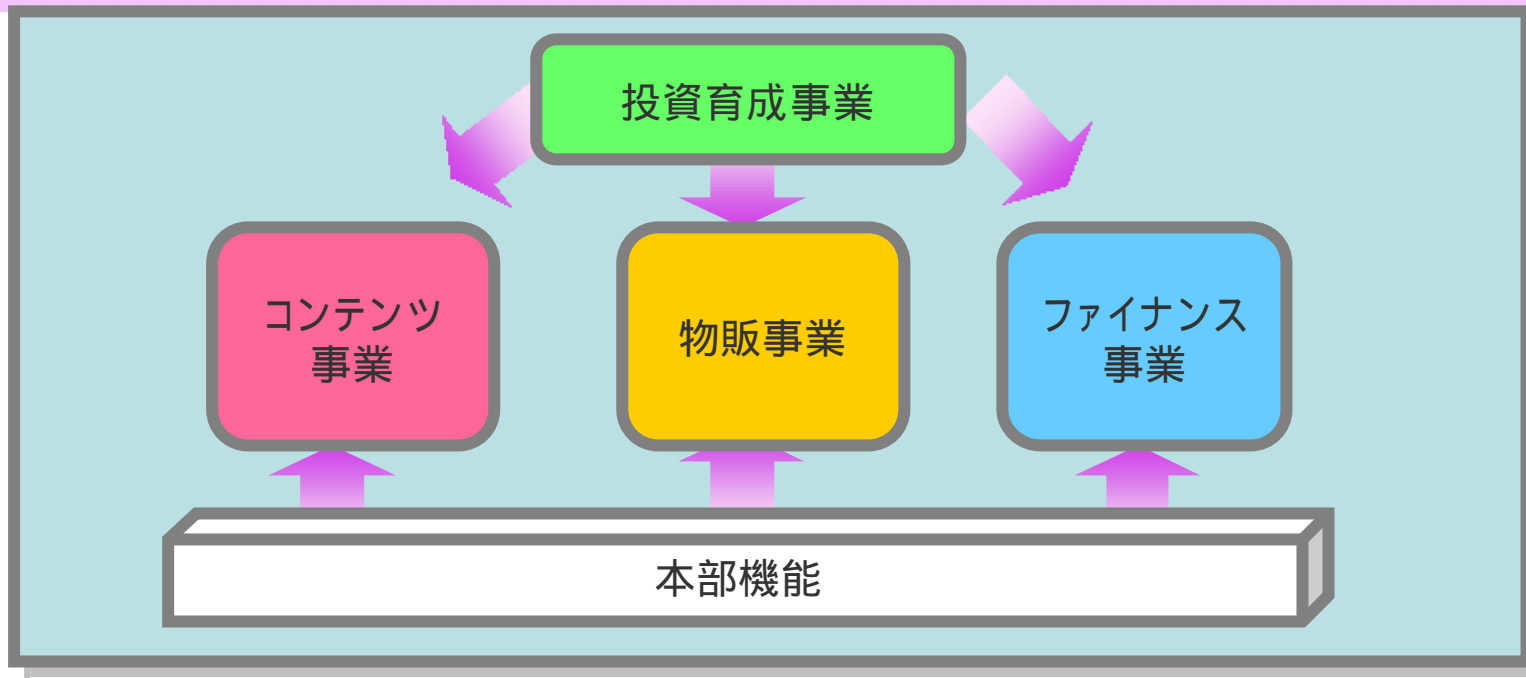
グループ支援機能の再強化、カードゲーム事業での人材育成など  
先行投資の結果、販管費増加を見込む

## ■ 純利益は着実な増加へ

グループ会社の業績改善から、子会社への貸倒引当金の戻し入れ  
益計上を見込む

# グループの支援・育成に注力して成長へ

# 投資育成から新たな企業グループ創造へ



- 投資育成事業を成長エンジンとして事業領域拡大を志向
- 日本国内・東南アジア両地域への事業機会を探る  
グループリースの連結子会社と同様、今後も投資育成事業をグループの成長エンジンとして東南アジア・日本両地域で、有力な事業獲得に注力
- グループを支える支援機能を継続強化  
本部からの経営支援・シナジー創出を通じて、より強固なグループ経営体制の確立を目指す

# 当社グループの課題

## ■ 事業規模拡大に伴う資金需要への対応

今後も事業の成長に伴い投資育成事業を初めとして資金需要は拡大傾向

財務の健全性を維持と株主利益の両立を図る資金調達の多様化が求められる

## ■ 人的資源の継続的強化、登用

事業規模拡大に伴い人的資源の強化が課題に

外部からの人材獲得とともに、内部の人材育成・登用も推進予定

# 株主還元についての方針

- 業績の伸長を反映した株価回復を第一に  
長期保有株主様に対し株価回復での貢献を  
中長期で業績回復に基づく企業評価の改善を期待
- 4期ぶりの復配予定を発表  
2009年9月14日配当見通しを修正、4年ぶりの復配を予定。  
1株あたり100円の普通配当を予定  
今後も事業成長・利益成長に応じて配当を含む  
株主還元を積極的に実施予定



# ご清聴ありがとうございました

弊社IRに関するお問い合わせ先

株式会社ウェッジホールディングス  
経営管理本部

TEL: 03-5217-0721

FAX: 03-5217-0722

[wedge-ir@wedge-hd.com](mailto:wedge-ir@wedge-hd.com)

弊社ホームページ: <http://www.wedge-hd.com/>

本資料には将来に関する記述が含まれていますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではありません。また、本資料の内容に関しては未監査であり、その内容の正確性および确实性を保証するものではありません。